

平成29年度 厚木東高等学校 年間指導計画

教科・科目	芸術・幼児教育音楽	学年	第3学年	教科書	
		単位数	3単位	副教材	ドレミ出版社「こどもの歌ベストテン」 啓隆社「Music Note 基礎から学ぶ高校音楽」

学習目標
将来、保育・幼児教育に携わりたい生徒を中心に、音楽をどう取り入れて、音感を伸ばし楽しませていくかを学習する。音感の発達するこの時期に四季を感じる歌や行事の歌等を通して生きる喜びを伝えられる指導の姿勢を学び、現場で即戦力となるべく音楽的技能を身につけさせる。

学習方法
一斉授業と個別指導を組み合わせて行う。
発表を多く取り入れる。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	①	音楽への関心・意欲・態度	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	
	②	音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、歌唱・器楽・創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽を作るかについて表現意図をもっている。	
	③	音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・創作の技能を身に付け、創造的に表している。	
	④	鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	

評価の観点	①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力
授業観察	○	○	○	
実技テスト・発表	○	○	○	
レポート提出	○			○
観点別比重	20%	30%	30%	20%

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法
1	子どもに聴かせる歌を学ぶ	9	歌唱と伴奏	童謡を歌う 伴奏を練習する 弾き語りをする	①楽曲にふさわしい発声を工夫している。 ②楽譜を見て音程、リズムフレーズ等を把握している。 ③楽曲のイメージに合った伴奏付けを行っている。	・実技テスト 「現場で即戦力となる能力を身につける(以下どの項目にも当てはまる)」
		10	器楽	キーボード自動伴奏 (コード理論学習を含む)	①意欲を持って取り組んでいる。 ②音色・リズム等の設定に工夫が見られる。 ③旋律と伴奏がバランスよく演奏されている。	・コード理論学習 ・楽曲練習 ・実技テスト
	音楽を広く知る	9	鑑賞	自主鑑賞 →生徒が1人ずつ選曲して解説を付けた楽曲を鑑賞し合う	①楽曲選択・解説に積極性が見られる。 ④楽曲提供者の意図をくみ、豊かな感受性を持って鑑賞できている。	・鑑賞レポート提出
	人前に立つ緊張感に慣れる	12	個人発表	ソロまたはデュオによる発表	①意欲をもって取り組んでいる。 ②個性を十分に発揮できている。 ③楽曲としてまとまった発表ができている。	発表会(実技テストとする)

2	音楽の楽しさを伝える	11	歌唱&器楽	架空の保育園訪問演奏会	① 各々の役割を理解できている。 ② 楽曲を完成させるため協力して練習方法を工夫している。 ③ 子供への指導法を考えながら演奏の練習をし完成させている。	・グループを作り楽器、歌唱等の分担 ・歌唱または楽器で発表(テスト)
	場面に応じたBGMを考える	10	創作	絵本に曲をつける	①自分で選択したテーマについてよく理解し意欲的に取り組んでいる。 ②幼児に聞かせる(見せる)ことを前提に表現方法を工夫している。 ③創作における構成力を身に付けている。	・グループを作りテーマを決める ・役割を分担し創作発表
	自己表現力を養う	20	歌唱&器楽	ショートオペレッタ (またはミュージカル)	①練習・準備に積極的に取り組んでいる。 ②与えられた役割を最大限に工夫しながら表現できている。 ③観客を意識した表現の技能を身に付けている。	・練習・準備 ・発表会 (実技テスト)
3	卒業に向けて総まとめ	24	歌唱	卒業式の式歌練習	①パートリーダー等の役割を決め、自主的に練習を進めることができる。 ②卒業に向けての思いを歌に込めて歌えている。 ③音程・リズム等、技術面での集大成を目指す。	・パート練習 ・全体練習 ・録音
合計時数(50分授業)		105				